**ハンドマイク街頭演説原稿例　　五輪中止・国民の命くらし守れ**

二〇二一年七月二一日　日本共産党埼玉県委員会・作成

ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、４回目となる緊急事態宣言下でも、２１日時点で都内の感染者数が１８３２人にのぼり、変異株による感染拡大が異常なスピードと規模ですすんでいます。埼玉県でも、３００人を突破し、感染拡大が続いています。

この間、日本共産党は東京五輪を開催すれば、行動抑制を求めるべき国民に誤ったメッセージをあたえ、感染抑止のための協力が得らえなくなると繰り返し主張してきました。まさに、今回の感染第５波の事態は、専門家の警告や国民の反対世論を無視し、「安心・安全の大会にする」と言って開催を強行した菅首相にきわめて重大な責任があります。これまでも、感染拡大によって、必ずコロナ感染による重症者は増え、死亡する患者も確実に増えてきました。このままでいけば、首都圏でも、第４波のときの大阪府のように余裕のない医療体制がひっ迫・崩壊し、助かるべき命までも失われる事態に陥ることは明らかです。こんな事態を決して引き起こさないために、菅政権は命を最優先にいま、ただちに五輪を中止すべきです。元外交官や学者らがよびかけた五輪中止のオンライン署名は１４万筆に達しました。最近の世論調査でも、国民の過半数が中止・延期を望んでいます。日本共産党は、五輪開催中も、命を守るために五輪中止を求める署名に取り組みます。みなさんのご協力をよろしくお願いします。

　みなさん、菅政権が五輪開催に全力をあげるなか、国民のくらしや雇用、飲食店はじめ地域の営業は限界を超えつつあります。「自粛」に協力してきたお店でも、閉店・休業が増え続け、一方でやむにやまれず営業に踏み切るところもうまれています。埼玉県は、協力金の支給の迅速化や補助上乗せなど営業を守るために最大限、努力を続けています。しかし、いま、本当に必要なのは営業を維持できるようなしっかりとした継続的な経営支援です。日本共産党は、第２弾の持続化給付金や家賃支援金の支給を国にあらためて強く求めていきます。持続化給付金の再支給を求める署名も始めました。事業者はじめ、みなさんと力をあわせてがんばります。日本共産党へのご支援をよろしくお願いします。

　みなさん、日本共産党は、都議選で現有１８議席を上回る１９議席を獲得し、野党第一党を維持しました。２０１４年、２０１７年の勝利に続く３回連続の前進であり、大きな勝利となりました。都議選では、１人区、２人区などで野党の候補者調整が実現し、野党共闘が大きく前進しました。野党共闘の進展が、日本共産党候補はもちろん、野党候補の勝利にとっても大きな力となりました。野党共闘が実現すれば、総選挙でも、野党統一候補が勝利する小選挙区が必ず増えます。数か月後に迫った総選挙で、野党共闘の力で政権交代を実現するためにも、日本共産党の躍進にぜひお力をお貸しください。みなさんの大きなご支援を重ねてお願いします。

　最後に、スクープ連発で広く注目をあつめている「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）